

土木工事安全対策成果発表講習会の開催(女性技術者・若手技術者・発注者の会)
マンガ建設看板を活用したKY活動成果報告等で、現場の安全を守る



安全講話や安全対策の成果発表が行われた「安全対策成果発表講習会」

遠賀川河川事務所管内の女性技術者・若手技術者・発注者の会と遠賀川河川事務所は4日、「土木工事安全対策成果発表講習会」を遠賀川河川事務所の水辺館で開催した。講習会には、組合員や行政関係者ら約100人が参加し、安全対策の講話や工事現場の安全対策

についてマンガ安全建設看板を活用したKY活動結果の報告等があり、現場における安全の重要性を新たに認識した。



主催者挨拶の浅地社長

冒頭、主催者挨拶の浅地裕太郎代表取締役社長（株谷口組）は「女性技術者・若手技術者・発注者の会は、24年秋に女性技術者育成のためのシンポジウム。昨年秋には今後の建設業を考えるシンポジウムを開催する中で発足しております。過去2回については大学教授の方々と講演やパネルディスカッションを行いました。今回は「安全」をテーマに直方で安全協議会等を設置し、労働監督署や各行政と連携しながら活動されている内容や実績について情報共有が出来ればと考えています」と述べた。



来賓挨拶の今井所長

来賓挨拶では、遠賀川河川事務所の今井勝一所長が「近年では、気候変動により遠賀川の水害が頻繁化しており、現場では今まで以上に安全管理が求められます。安全対策は何よりも優先すべきもので、いかなる制約があっても後回しにすることはできません。発注者として、

現場が安全に取り組めるように適切な発注時期の確保、様々な情報共有の充実、皆さんの負担軽減に向けた取り組み等の環境づくりに努めたい」と挨拶した。

講習会では、遠賀川河川事務所の工藤雄一副所長が「安全対策（Ⅰ）」と題し、安全な現場をつくるためのポイントとして①やるべきことをやる、

②事故発生には傾向がある、③風通しの良い環境づくり等について講話。休憩を挟んで、協和建設(株)の谷口正晴代表取締役社長が「安全対策（Ⅱ）」と題し、過去の経験を経て、マンガを活用した安全対策としての①人命尊重と法的義務、②過去の災害事例とその教訓、③現場で実践すべき安全行動等やマンガ効果によって安全の見える化を実現し、マンガ安全建設看板の効果やリスクアセスメントとKY活動の周知徹底などについて講話した。

続いて、(株)白石組の白石慎二専務取締役が「工事現場の安全対策報告事項」と題し、水替工の安全対策や現場の見える化等について、(株)英建設の桑村一平常務取締役が「工事現場



成果報告の白石専務



成果報告の桑村常務

場のイメージアップ」と題し、現場に潜む具体的な危険を描いたマンガ看板等の安全対策の成果を報告。内田康寛所長（直方出張所）と古川穂乃花監督官（労働基準監督署）の「工事現場の安全対策講評」があり、出席者は話に耳を傾けながら熱心に聴講。質疑応答のあと、峯香奈恵さん（有安永工務店）が閉会の挨拶をした。



安全講話の工藤副所長

安全講話の谷口社長